

JR 篠ノ井線および、しなの鉄道について

【ご意見】（令和6年1月30日受付）

先日篠ノ井線に乗って、ふと思ったことです。

稲荷山―姨捨間に駅はできないでしょうか？混雑が解消するわけでもなく、遅延の解消にもつながらないのですが、このままでは「利用が少ない→車両が減る→本数が減る→廃線」という負のスパイラルに陥ってしまいます。人口減少で利用者は少なくなる一方でしょうが、まだ地域財政に少し力があるうちに、何か手を打つのはいかがでしょうか？

かつて千曲市に新幹線を、という話もありました。それよりは新幹線の最終便に接続するしなの鉄道があればとも思いました。JR はしなの鉄道の千曲駅のように新駅を設置することにあまり積極的ではないかもしれませんが、千曲市の篠ノ井線駅が姨捨駅だけでは利便性という点では不便です。

塩崎―坂城バイパスの工事も進み、財政面や利便性の面で検討の余地は少ないかもしれませんが。しかし桑ノ原信号所周辺にそれなりの敷地はありそうなので、パーク&ライドの駅を設置(上り下り共用のホームでよいと思います)するなどはいかがでしょうか？パーク&ライドのある松本市の平田周辺は駅の設置でかなりにぎやかになっています。長野道の更埴 IC と坂城 IC の間にスマートインターチェンジの話もあり、工場誘致も含め、千曲市は交通の要衝だと思いますので、財源は全く考慮していませんが、検討の余地はあると思います。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

JR 篠ノ井線稲荷山駅・姨捨駅間への新駅設置のご提案をいただきましたが、ご承知のとおり、鉄道駅を新設するには、需要や立地に関する調査など、長い年月と多額の費用が必要になります。また、最終的には鉄道事業者との協議が調わなくては実現できないものと認識しており、現在、千曲市としては議論の対象とはしておりません。

今回いただきました新駅設置に関するご提案につきましては、現在、市民団体が同様の構想を JR 東日本長野支社に伝えているとの報道がありましたが、同支社は「正式に要望があったら慎重に検討していく」との見解であるため、本市としてもこの動向を注視しながら、行政としてすべき役割を検討していきたいと考えております。

担当 総合政策課